

# 関係団体ヒアリング 地域コミュニティ分野（報告）

- 1 日時 令和元年8月29日（木） 19:00～20:00
- 2 場所 戸町小学校 図書室
- 3 団体名 戸町みらいまちづくり協議会
- 4 参加者 戸町みらいまちづくり協議会 役員 10名  
関係所属：地域コミュニティ推進室 2名、中央総合事務所総務課 2名  
合計 14名



## 参加者の主なご意見

### ✿10年前から良くなったこと✿

- ◆ 南環状線が開通し、交通の利便性が向上した。
- ◆ マンションや団地が新しく造成され、人口が増えた（若い世代）。
- ◆ 小菅修船場跡が世界遺産に認定された。
- ◆ まちづくり協議会ができた。

### ✿10年前から悪くなったこと・最近困っていること✿

- ◆ 南環状線は、車両専用道路であるため住民の利便性はそれほど向上していない。また、地域の上（新戸町）と下（戸町）の環境格差が拡大した。
- ◆ 戸町から新戸町への片側一方通行の道路について、見通しが悪かったり、非常に狭かったりして非常に危険であるため、改善要望をおこなっているが、改善されない。
- ◆ 一方通行の道路を迂回する通学路に不審者が出る。
- ◆ 世界遺産が認定されたが、駐車場がなく集客につながっていない。

- ◆ ふれあいセンターが狭く、地域及びまちづくり協議会の拠点として機能が不足している。
- ◆ 自治会加入率の低下は深刻である。(現在 60%ぐらい)
- ◆ 自治会への未加入者などへの周知が行き届かないため、ゴミの分別が徹底されず、トラブルの元となっている。
- ◆ ごみステーションに関するトラブルが一番多い。
- ◆ 戸町地区に空き地が増えている。
- ◆ 子どもたちがボール遊びをする場所がない。

## ❖これから 10 年間、市が取り組むべきこと❖

- ◆ 道が狭く、見通しが悪い一方通行の道路については、是非、区画整理事業で計画を策定してほしい。地元だけでの対応には限界がある。
- ◆ くるまみちの整備には、時間を要するので今後も事業の継続をしてほしい。
- ◆ ふれあいセンターは自治会公民館とし、新戸町市営住宅を建て替え、ふれあいセンターなどの機能を含めた複合施設を、駐車場を備えた形で作ってほしい。
- ◆ 公共施設マネジメントにより、公共施設の縮小を図ることは一定理解はするが、機能を満たさないものは引き続き整備が必要である。
- ◆ 自治会加入促進に関しての具体的な市の支援が必要である。自治会に入っているメリット等がないとなかなか自治会加入を増やすことは困難。
- ◆ 渋滞の起点となっている戸町にある交差点の信号のズレを直してほしい。
- ◆ 道路整備などの際の地権者との協議は、市が行ってほしい(地元住民同士ではトラブルの元になる)。
- ◆ 現在、戸町は中央地域センター、小ヶ倉は小ヶ倉地域センターとなっているが、以前から関係する地域(同じ中学校区)である。行政区割りの見直しが必要である。
- ◆ 職員が、研修などでもよいので地域の行事などの手伝いをしてほしい(マンパワーが不足している)。
- ◆ 関わる人が同じになってしまっているので、以前から存在している目的が同じ団体(子どもを守るネットワーク、育成協など)の整理をしてほしい。
- ◆ 選挙の投票率アップのため、当日の投票も市内のどこでもできるようにしてほしい。例えば、マイナンバーカードを取得者は投票可能とできたら、取得率も上がるかもしれない。

## ❖これから 10 年間、自分たちでしたいこと❖

- ◆ 全住民で情報を共有できるような事業を実施したい。
- ◆ 地域の輪を広げることで、地域のみんなで防災ができるようにしたい。
- ◆ 地域の屋台骨である自治会のあり方について、よく話し合い、加入促進に本気で取り組みたい。